



1 地域社会の動向

【中央第一地区のデータ】

2022年9月30日現在

人 口	3,945 人	施 設	名 称
世帯数	2,413 世帯	小学校	八幡小学校
高齢化率	31.9 %	中学校	中央中学校
一人暮らし高齢 (75歳以上)	590 世帯	市民センター	八幡大谷市民センター
		地域包括支援センター	八幡東2
中央第一地区社協の 構成地域	・中央1丁目～3丁目 ・東田地区		
その他の 社会資源等	八幡東区役所、八幡東区社会福祉協議会、八幡大谷市民センター、 八幡小学校、中央中学校、中央しおり保育園、中央区商店街、 高炉台公園、東田大通り公園、レインボープラザ、八幡東体育館、 いのちのたび博物館、環境ミュージアム、スペースLABO ANNEX、 東田第1高炉史跡広場、日開神社、八幡郵便局、八幡中央三郵便局、 福岡ひびき信用金庫、福岡銀行八幡支店、北九州銀行八幡中央支店、 スペースワールド駅、イオン八幡東		



2 地域の特性

中央第一地区は八幡東区の中心部に位置し、古くから続く商店街と東田地区に出来た新しい大型商業施設が混在する地理的特性がある。

また、戦前より続く中央祇園山笠を地域全体で行う事で伝統文化の継承を大切にする地域でもある。



3 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

中央第一地区社会福祉協議会では、平成8年度よりふれあいネットワーク活動を展開し、見守り活動や助け合い活動を行ってきたが、高齢化率が30%を超え、自治区会の加入率が低下している。若い世代が多い東田地区の住民との関係作りが課題となっている。

計画の推進



1 関係団体への承認と周知

地区社会福祉協議会関係団体への計画の承認と周知を行い、協力依頼をする。

2 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画推進のため、中央第一地区福祉活動計画の策定・推進委員会を設置し、重点目標毎に担当を分けて、計画の進行管理を行う。

3 第一次計画の評価と第二次計画の策定

第一次計画の総括評価をし、その結果を踏まえ、基本目標毎に担当を分けて第二次計画の策定をする。



第二次 中央第一地区社協小地域福祉活動計画策定・推進委員会名簿

氏 名	所 属 団 体	役 職
畠中 聡之	中央第一地区社会福祉協議会	委 員 長
古野 智慎	中央第一自治区会	委 員
坂本 洋二	八幡大谷青年部	委 員
大河内 哲子	健康づくり推進員の会	委 員
前田 邦子	八幡大谷まちづくり協議会	委 員
橘 美智子	中央第一婦人部	委 員
木原 雅子	民生委員児童委員	委 員
吉川 美基代	中央第一婦人部	委 員
島添 彩	中央第一地区社会福祉協議会	委 員
飯島 啓子	中央寿会	委 員
吉村 敦子	八幡小学校放課後児童クラブ	委 員
竹中 良信	中央第一自治区会	委 員
香月 百合子	中央寿会	委 員





中央第一地区の元気プラン

つなごう福祉の絆 安心して暮らせる町づくり



基本目標1 【安心して暮らせる町づくり】

◎ 【実施項目】

- ・福祉協力員の健康づくり指導育成
- ・きちゃりー中央新聞発行
- ・防犯防災パトロール
- ・福祉教室の開催

地域になくてはならない福祉協力員さん。その役割について今以上に理解を深めてもらい、活動につなげていく。また、活動の中心を担う福祉協力員さんの健康づくりを積極的に行い健康寿命を延ばす取り組みを行う。元気で明るい安心安全なまちづくりを目指す。



基本目標2 【ふれあい交流の場所作り】

◎ 【実施項目】

- ・地域になじみのない高齢者対象のサロン活動
- ・高齢者の居場所作り
- ・八幡大谷ひまわり教室見守り活動
- ・八幡大谷ふれあい昼食会見守り活動
- ・社協役員の研修等
- ・敬老会

外に出かけて人と話す事や体を動かすことが健康につながる事は事理明白。高齢者が外に出かけやすいような関係作りと居場所作りを目指す。その中で地域住民の関心や興味を収集し生きがい見つけや会話を楽しめるサロンの構築を行う。また、地域商店との連携を図り地域の中で集える場所の開拓を行う。

中央第一地区
第二次 小地域福祉活動計画
2023~2027
(概要版)

基本目標3 【次世代へとつなぐ育成活動】

◎ 【実施項目】

- ・やるキッズ
- ・ウェルクラブ
- ・活動に関わる若手の育成
- ・非行防止パトロール

社会や地域の変化に応じて内容を見直していく必要を感じるウェルクラブ。地域の子どもの健全育成やシビックプライドの醸成を推進するため、地域と学校、家庭が一体となって未来を見据えることが出来るような活動を目指す。また、活動を担う若手の育成には、保護者世代とのつながりを保ち、意見を取り入れたり任せたりする事でより活動の推進へと繋げていく。



基本目標4 【地域ふれあい事業】

◎ 【実施項目】

- ・スポーツ大会
- ・夏祭り
- ・盆踊り
- ・町内運動会
- ・春らんまん地域年長者交換の集い
- ・どんど焼き

それぞれの行事についての目的を更に明確にし、行事を通して今まで以上に声を掛け合い情報収集し、地域の困りごとを見つける。そこから「見守り」「話し合い」「助け合い」へとつなげていくことを目標とする。また、若い世代との交流で活動の担い手へと取り込んでいく。